

# ピュアコート水性 塗装マニュアル

## 目次

- P2 ピュアコート水性塗装工程
- P3 下地塗膜
- P4 養生、塗装前に
- P5 塗装条件
- P9 塗装方法
- P11 親水性の確認
- P12 補修
- P13 注意事項
- P15 安心塗装チェックシート

記載事項に関する問い合わせ先→

株式会社ピアレックス・テクノロジーズ  
本社&研究センター

[TEL:0725-22-5361](tel:0725-22-5361)

〒595-0016 大阪府泉大津市条南町4-14

PIALEX TECHNOLOGIES

## ① 下地確認

下地は十分に乾燥しているか？  
目安：夏季12時間以上  
冬期36時間以上

## ② 養生

塗装しない箇所をしっかりと養生！

## ③ 塗装

施工要領書に従って  
塗り残しがないように

## ④ 親水性確認

霧吹き器による親水性確認！！  
塗膜が十分に乾いてから

## ⑤ 完了

全体の仕上がりを確認  
タレ跡や塗装ムラに注意

## ① 下地確認

下地は十分に乾燥しているか？

目安：夏季12時間以上

冬季36時間以上

・なんで溶剤型塗膜には塗装できないのか？

→ピュアコート水性は水系塗料なので、はじいて外観不良や密着不良になるからです。

・なんで二液型低汚染塗膜には塗装できないのか？

→二液型低汚染塗膜の表面状況(親水化剤の影響)により、ピュアコート水性が密着不十分になる可能性があるからです。

・なんで下地はシリコングレード以上のものを推奨するのか？

→ピュアコート水性はフッ素樹脂を使用しているので、より耐久性の高い塗膜と相性がいいからです。

・なんで下地は十分に乾燥してないとダメなのか？

→ピュアコート水性を乾燥していない塗膜に塗装すると下地の乾燥が遅くなり、白濁化やチョーキングの原因になって、防汚性(親水性)も出にくくなるからです。  
また、下地の結露にも注意してください。

**下地塗膜の乾燥時間は下地塗料メーカーの推奨時間を目安にしてください。(夏季12時間以上、冬季36時間以上)**

・なんで下地は5分艶以下で淡彩色が推奨なのか？

→ピュアコート水性は、光触媒を含有しているので、完全なクリアーではありません。従って、艶ムラや白ボケ等が発生する可能性が有ります。

**下地が万全でないと、ピュアコート水性の白濁化やチョーキング等不具合が発生する場合がありますので、塗装前に再度確認をしてください。**

### ② 養生

塗装しない箇所をしっかりと養生  
飛散するので周辺も

ピュアコート水性は吹き付け塗装専用なので、塗装しない箇所にはしっかりと養生をしてください。  
万が一付着した場合はすみやかにふき取り除去してください。

ピュアコート水性は環境に対して安全です。

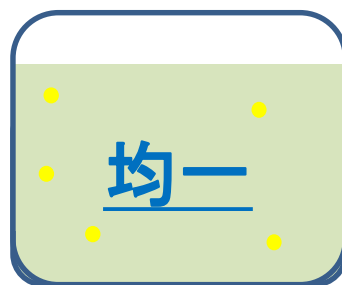
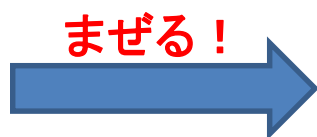
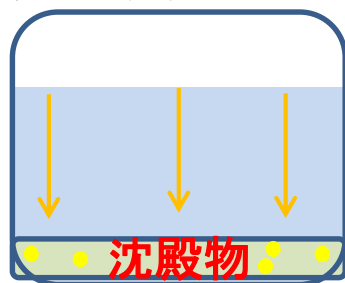


### ③ 塗装

施工要領書に従って  
塗り残しがないように

塗装の前に・・・

ピュアコート水性は光触媒が底に沈殿している場合があります。  
開封前に容器を振って攪拌を行ってください。  
塗装前は必ず目視で容器の底部に沈殿物がないことを確認してください。  
→そのまま塗装した場合、塗装ムラ等不具合になる可能性があります。

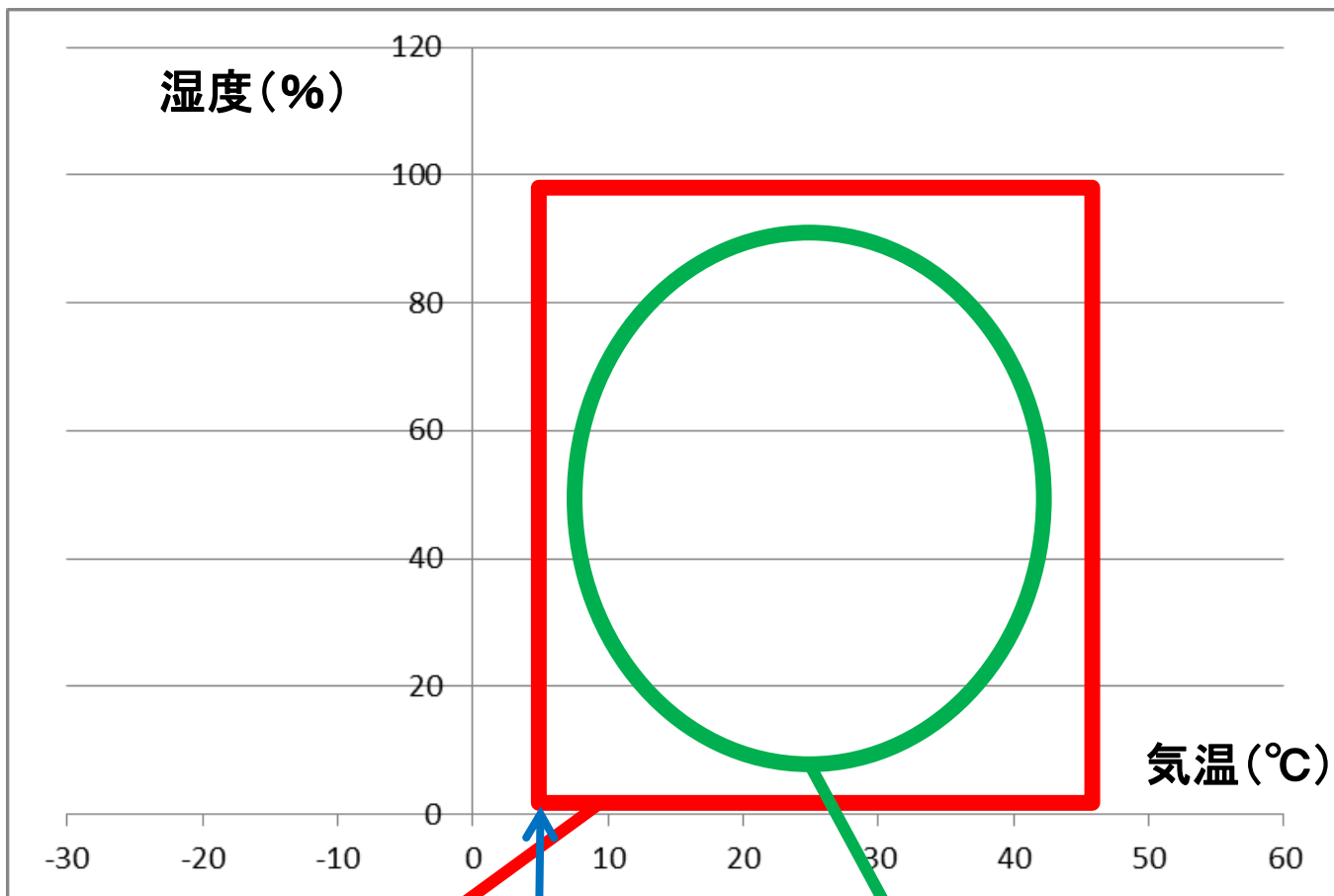


# ③ 塗装

施工要領書に従って  
塗り残しがないように

塗装の前に...

ピュアコート水性を塗装するときの気候条件に関して



塗装可能条件

塗装好適条件

**気温5°C未満の時は塗装できません。**

→ピュアコート水性は水系塗料なので、気温が5°C未満の時に塗装すると乾燥不良等による不具合が発生します。

## ③ 塗装

施工要領書に従って  
塗り残しがないように

### 塗装準備

塗装器具を水もしくはIPA(イソプロピルアルコール)で十分に洗浄してください。

→違う塗料や溶剤に混ざると塗装機が詰まる可能性があります。

### 塗装機仕様

	チップ	口径 (mm)	吐出圧 (MPa)	空気圧 (MPa)
エアコートガン エア圧 0.1~0.3 MPa	精和産業社製 ターンWチップ0940	0.23	4~5	0.1~0.3
	ワグナー社製 3000ACチップ9/40or9/50	0.23	4~5	0.1~0.3
エアレス塗装機	精和産業社製 ターンWチップ(ACG用)0940	0.23	4~5	—
	ワグナー社製 トレードチップ2 409	0.23	4~5	—
カップガン 1馬力以上	口径1mm パターン幅30cm	1.0	—	0.2~0.3

・大きな口径のチップを使ったらどうなるのか？

→吐出量が多くなり、ムラやタレの原因になります。

・小さい口径のチップを使ったらどうなるのか？

→吐出量が少なくなり、機能不良(親水性不足)になります。

**上記塗装機仕様はかならず守ってください。**

### エアレススプレーガン



精和産業社製  
ターンWチップ(ACG用)  
0940



ワグナー社製  
トレードチップ2  
9/40or9/50

### エアコートスプレーガン



精和産業社製  
ターンWチップ  
0940



ワグナー社製  
3000ACチップ  
9/40or9/50

### カップガンスプレー



口径1 mm以下

ローラーNG  
刷毛NG

## ③ 塗装

施工要領書に従って  
塗り残しがないように

### ピュアコート水性塗装仕様

塗装方法	スプレー吹付(ローラー厳禁)	
吹付回数	2回	
使用量	1回: 0.035~0.045 kg/m <sup>2</sup> 2回合計: 0.07~0.09 kg/m <sup>2</sup>	
塗装可能面積	8 kg: 89~114 m <sup>2</sup> 3 kg: 33~42 m <sup>2</sup>	
塗り重ね間隔 (指触乾燥)	夏	30分
	冬	1時間
親水性確認までの乾燥時間	夏	2時間
	冬	6時間
完全乾燥時間	通年	2週間~1ヶ月

施工条件や環境によって変化する場合があります。

**使用量は2回の合計値です。**

**1回目0.035~0.045kg/m<sup>2</sup> + 2回目0.035~0.045kg/m<sup>2</sup>  
合計0.07~0.09kg/m<sup>2</sup>**

・使用量が少ないとどうなるのか？

→防汚性(親水性)が弱くなり、ピュアコート水性の効果がなく  
なる場合があります。

・使用量が多いとどうなるのか？

→塗装後に白濁したり、タレ跡やムラが発生する場合があります。

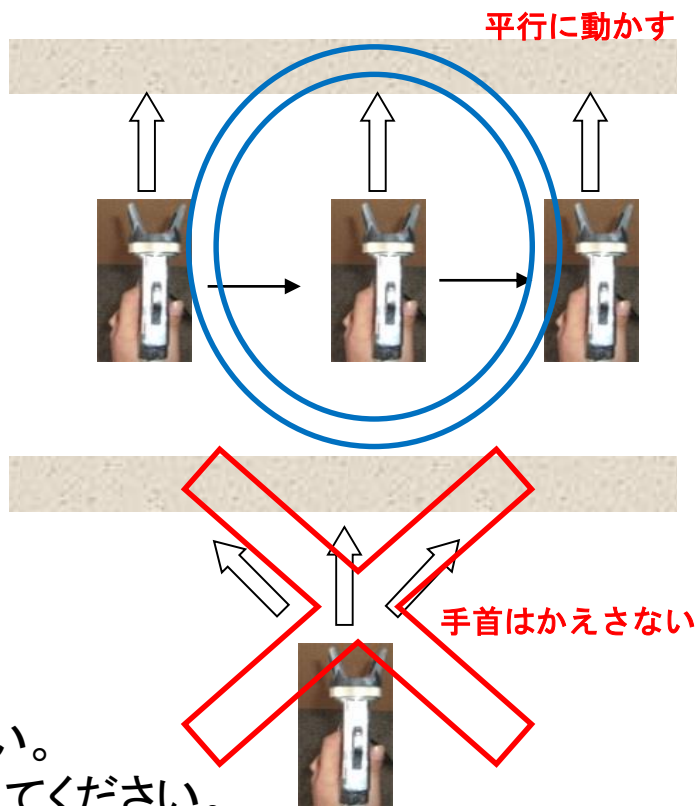
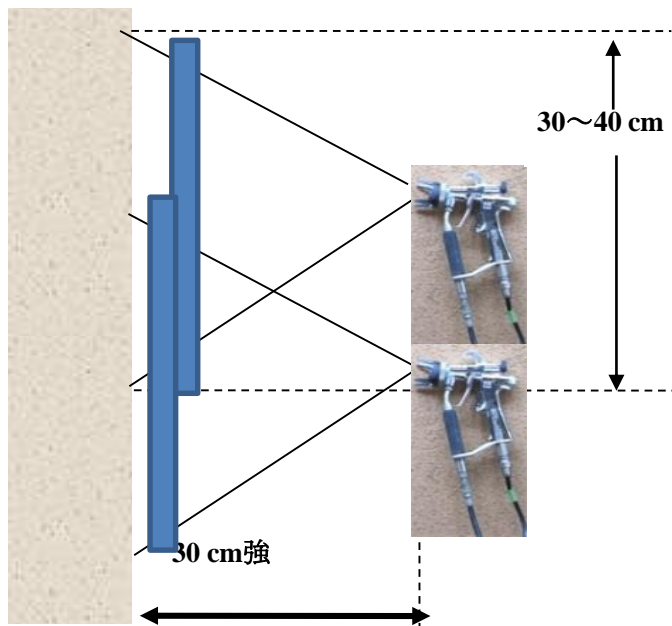
**適量で均一に塗装する事が重要です。**



# ③ 塗装

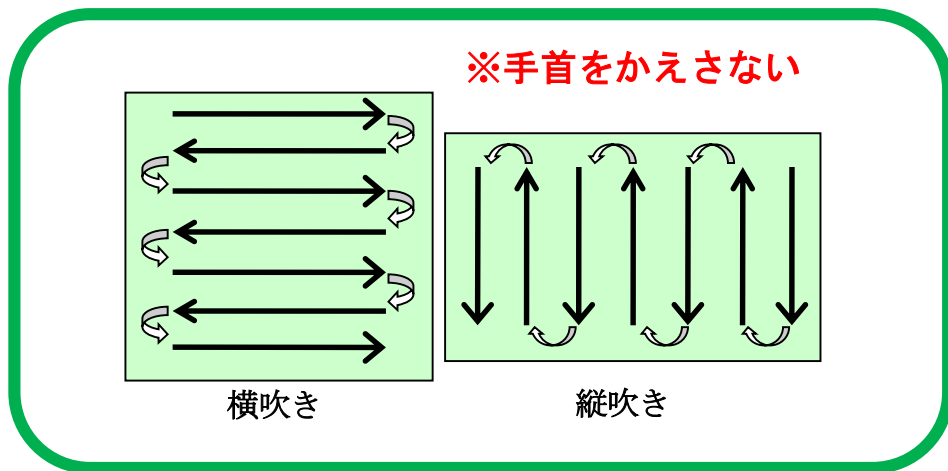
施工要領書に従って  
塗り残しがないように

## 塗装方法



距離や動かし方に注意してください。  
塗装面とは可能な限り垂直を保ってください。

**吹付速度の目安: 平滑面1m<sup>2</sup>を30~50秒で塗装**  
**凹凸面1m<sup>2</sup>を30~60秒で塗装**



横縦で1回です。  
インターバルにも  
十分注意して  
ください。

## ③ 塗装

施工要領書に従って  
塗り残しがないように

### 塗装工程

1回目  
塗装

横＋縦で1回  
使用量は**0.035～0.045kg/m<sup>2</sup>**

吹付速度は平滑面1m<sup>2</sup>を30～50秒  
凹凸面1m<sup>2</sup>を30～60秒

インター  
バル

夏季30分  
冬季1時間以上  
→タレやムラの原因になります

2回目  
塗装

1回目塗装と同じ  
横＋縦で1回  
使用量は**0.035～0.045kg/m<sup>2</sup>**

吹付速度は平滑面1m<sup>2</sup>を30～50秒  
凹凸面1m<sup>2</sup>を30～60秒

塗装  
確認

ピュアコート水性の使用量を確認  
してください

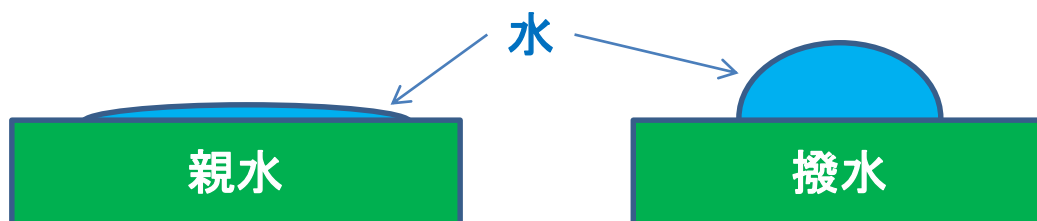
## ④親水性確認

霧吹き器による親水性確認  
塗膜が十分に乾いてから  
行ってください

・親水性ってなに？

→塗膜表面が水になじむ事です。

この現象によって、雨水とともに汚れも流れ落ちます。



ピュアコート水性が正しく塗装された箇所は  
表面が親水性になっています。

従って、塗装面に霧吹き器などで水をかける事により  
正常に塗装できたかどうか確認する事ができます。

霧吹き器等で親水性を確認する際は・・・

ピュアコート水性塗装後

夏季：**2**時間以上

冬季：**6**時間以上

十分塗膜を乾燥させてから行ってください。

→乾燥してないうちに水をかけると、ピュアコート水性も  
水といっしょに流れ落ちる可能性があります。

※親水性の確認が難しい時はピュアコート水性塗装時の  
養生テープで簡易に確認できます。

## ⑤完了

全体の仕上がりを確認  
タレ跡や塗装ムラに注意

### 補修について

キズ等の小規模な補修

→刷毛等で薄く塗ってください。

(十分にしごいた刷毛等で1回塗り)

タレ

乾燥前→すぐにウエスでふき取り乾燥後シーラーからの  
再塗装を行って下さい。

乾燥後→イソプロピルアルコールでふき取ってから、  
シーラーからの再塗装を行ってください。

ムラ

→シーラーからの再塗装を行って下さい。

親水性が弱い

→再度、晴天時にピュアコート水性を再施工して下さい。  
(原因としては、下塗施工後の養生時間が短かった。  
湿気が高い、降雨等が考えられます。)

**完全乾燥したピュアコート水性塗膜はリコートができます。**

# ピュアコート水性の注意するところ

不具合の原因を知っておけば未然に防げます！！

## 天候条件

降雨、降雪等の天候不良

結露  
高気温  
低気温  
高湿度  
強風

## 下地状態

未乾燥下地への塗装  
シーラー塗り忘れ  
下地の吸い込みムラ  
下地の乾燥ムラ  
パテ補修痕  
モルタル等の補修痕

塗料攪拌不足、不適切な塗装方法  
塗装速度が一定しない  
吹付距離が近い、吹付距離が遠い  
吐出量が多い、吐出量が少ない

## 塗装方法



←このような仕上がりにならないように  
上記項目に十分注意して、  
ピュアコート水性を塗装してください。

白濁痕と塗装ムラ

# 塗料性状と注意事項

荷姿	ポリ容器 5 L容器 : 3 kg・ 10 L容器 : 8 kg
液性状	乳白色液体、アルコール臭
消防法による危険物区分	非危険物
安衛法表示対象物質	イソプロピルアルコール (IPA)
比重 (at25 °C)	0.9
粘度 (at25 °C/イワタカップ)	8.0±2.0 sec
pH	8.0~11.0

ピュアコート水性は光触媒を含有していますので、塗装後の仕上がりが白くなる可能性があります。濃彩色は白ぼける可能性がありますので、必ず淡彩色に使用してください。

艶消し傾向があります。艶が半減することを目安に御使用ください。

施工を行う前に一度試験施工で仕上がりの確認を行ってください。

開封後14日以上経過したものは使用不可なので廃棄してください。

未開封であっても保存期間は半年です。

非危険物ですが、無理な扱いをせず、冷暗所で保存し、火器を使用しないでください。

廃棄は水性塗料の廃棄方法で行えます。河川や土壌に流さないでください。

施工中、気分が悪くなった場合は医師の診察を受けてください。

施工要領書、SDSの資料が必要な場合、ご購入いただいた販売店へお問い合わせください。

**塗装前にもう一度、当塗装マニュアルを御確認ください。**



塗装時は、ヘルメット、保護メガネ、手袋、マスク等安全対策をして、換気には十分注意して塗装を行ってください。

## 記入してみましょう！

- ① 塗装年月日
- ② ピュアコート水性 Lot.No.(製造番号)
- ③ 下地塗料 a.製造元、品名、色、艶  
b.下地乾燥状態(下地塗装からの経過時間)
- ④ 塗装面積とピュアコート水性使用量(缶数)
- ⑤ ピュアコート水性塗装時の天候、気温、湿度
- ⑥ 塗装方法(エアレスorエアコートorカップガン)
- ⑦ コンプレッサーとチップ
- ⑧ 塗装機器の洗浄
- ⑨ ピュアコート水性の使用前攪拌
- ⑩ 塗装条件 吐出量  
塗装面との距離  
ガンの移動速度  
塗装中の塗料攪拌  
1回目と2回目の塗装間隔時間
- ⑪ ピュアコート水性乾燥時の天候、気温、湿度
- ⑫ 親水性の確認
- ⑬ 補修箇所と補修方法
- ⑭ 仕上がり感

